

平成30年度総会



NISA 中野会長

第25回通常総会を下記の通り開催し、会員の皆様にはご多忙中にも拘わらず多数のご出席を賜り、お蔭をもちまして、無事終了しましたことをご報告致します。

総会は下記の通り開催しました。

1. 日時 平成30年6月21日(木) 13:45～14:40
 2. 場所 ホテル セントヒル長崎 3F「紫陽花」
 3. 正会員 総数62名
 4. 出席者 62名(出席者32名+委任状30名)
- 第1号議案** 議事録署名人の選任: 荒木(久)理事・酒井監事を選任
- 第2号議案** 平成29年度活動報告並びに決算・監査、報告、承認の件、満場一致で承認。
- 第3号議案** 任期満了に伴う理事、監事選任の件 満場一致で、承認。
- 第4号議案** その他の案件、特になし

平成29年度活動報告

平成29年度の我が国経済は、緩やかな回復基調を続けている。雇用情勢が一段と改善する中で人手不足感は特に高まっており、新技術の導入を進め生産性向上と多様な人材の労働参加が求められています。長崎県の景気は、全体として緩やかな回復基調を続けており、雇用・所得環境をみると、労働需給は緩やかな改善が続いています。本県を取り巻く社会経済情勢は、人口減・グローバル化・情報通信技術による高度情報化進展等大きく変化しており、この潮流や課題を的確に捉え、県づくりの新たな視点の計画されている。平成28年度から32年度の5か年計画として「長崎県総合計画チャレンジ2020」が策定され、実施2年目の取組みが推進されました。当協会の活動においては、重点事業として取り組んでいる研修事業を、会員の皆様より課題・ニーズをお聞きしながら計画を立て

実施しました。皆様方にはIT業界における重要な経営資源の柱として、人材育成の重要性をご認識され、人材育成の重要性をご認識され、熱心に受講して頂きました。会員企業様の多忙な業務の中、目標の200名には達しませんでした。194名の方に受講して頂きました。さらに、JISA補助金による「地域高度IT技術者育成事業」として1講座11名を加え、合計205名の方に受講頂きました。会員の皆様に重ねて厚くお礼申し上げます。平成29年度は、“ICTで地方創生、ふたたび出島から！”をスローガンにANIA長崎大会を開催しました。本大会の開催にあたり、会員各位のご支援・ご協力の下、会員様をはじめ県内外から約300名のご参加をいただき、お蔭様で盛会裏に終了することができました。ここに厚く御礼申し上げます。

任期満了に伴い選任された理事・監事(重任・新任)

重任	中野 一英	会 長	(株)NDKCOM
重任	佐藤 康彦	副会長	システムファイブ(株)
重任	濱本 浩邦	副会長	不動技研工業(株)
重任	須藤 英明	理 事	アイティースペース(株)
重任	石井 昭弘	理 事	エコ電子工業(株)
重任	荒木 久生	理 事	NBC情報システム(株)
重任	三條西公朋	理 事	(株)MHPSコントロールシステムズ
重任	濱口 晴樹	理 事	扇精光ソリューションズ(株)
重任	梁瀬 和夫	理 事	ケービーソフトウェア(株)
重任	山口潤次郎	理 事	(株)長崎ケーブルメディア
重任	小原 文治	理 事	(株)日本ビジネスソフト
重任	荒木 泰道	理 事	(株)ユースフル
重任	峰松 浩樹	理 事	(有)ランカードコム
新任	高橋 康至	理 事	(株)イシマル
新任	石橋 圭介	理 事	オフィスメーション(株)
新任	北口 功幸	理 事	(株)亀山電機
新任	柿田 茂博	理 事	(株)デュアルキーステム
新任	松尾 昌弥	理 事	(株)ドゥアイネット
新任	酒井 良文	理 事	(株)PAL構造
重任	高木 潤	監 事	リコージャパン(株)長崎支社
新任	山下 公一	監 事	十八ソフトウェア(株)

任期満了による理事・監事退任の皆様には長い間、理事・監事としてNISAを支えて頂きありがとうございました。

1	退任	石橋 洋志	理事	オフィスメーション(株)
2	退任	平 敏孝	理事	十八ソフトウェア(株)
3	退任	平手 秀樹	理事	大新技研(株)
4	退任	土井 幸喜	理事	ドウアイネット(株)
5	退任	荒川 早人	理事	富士ソフトサービスビューロ(株)
6	退任	酒井 良文	監事	(株)PAL構造

10. 「長崎県次世代情報産業クラスター協議会」参加による高度先端技術への取組み
11. 県・市の「IoT推進ラボ」と連携したIoTビジネス化への取組み
12. クラウド化・ビッグデータ・センサー・AI・セキュリティ技術への対応 など

「我が社の一押し」

■エコー電子工業株式会社



本山様

本山課長より「雨量観測システム」をテーマに、開発の背景、システムの開発、概要、設置例について発表して戴きました。

近年、気象異常による豪雨災害が顕著に発生しています。

それにより国交省は、2020年度までに約5,800カ所に新たに水位計を設置する計画です。そこでクラウドシステムを使い、電源は太陽光パネル、通信はWi-Fi、3G、LTE等により安価で故障の少ない雨量測定装置を開発しました。

サイトは誰でも登録でき、警戒値を超えるとメールで知らせる機能を持ち、既に県内外の市町村に設置され運用されています。

■株式会社スタイルネット



清水様

清水様より「タブレット・Webアプリ連携勤怠管理システム」の開発について発表していただきました。

客先より勤怠管理を導入する前の問題点、要望をヒヤリングし、

要望に応じてシステムの開発を行いました。当初はwebアプリでしたが、androidアプリに変更し、タブレットで出勤時間のみを入力する方式としました。また、残業時間、給与計算は自動計算としました。本システム導入後の効果として、残業時間が減り、経理の負荷、経費が減りました。

平成30年度活動方針

長崎県は、「長崎県総合計画チャレンジ2020」の3年目となる平成30年度においては、5つの将来像の実現推進にあたり、産官学、市町と連携しながら力を結集し取組みます。

良質な雇用の創出に向けては、企業誘致の受け皿整備や産業支援機関と連携した県内産業全体の生産性向上、IoTの利活用推進等の取組を展開する方針です。

この方針に沿って「長崎県次世代情報産業クラスター協議会」が設立されました。ロボット・IoT・組込み関連企業の高度人材育成や、先端情報技術提供企業と活用企業のマッチング等により事業拡大・生産性向上・付加価値向上を図ることが目的です。

協会ではIoTに関連した県・市の取り組みに積極的に参加し推進して参ります。このような中、本年度も「一般社団法人」としての趣旨に従い、自主運営・管理の下、非営利法人として会員や県内事業者の皆様のお役に立てることを第一に、先進的なテーマへの取組みを交えながら運営していきます。

本年度も、定款第4条事業に関してその目的を達成するため、次の事業を行います。

1. 皆様に役立つ情報を配信する情報提供事業
2. 会員のニーズにマッチした研修事業の継続と強化
3. 研修事業を車の両輪として、助成金の利活用の普及と拡大
4. JISA、ANIA等の関連団体との交流と連携事業の展開
5. iCDA・FISAと連携した「iコンピテンシ ディクショナリ・ワークショップ(中小企業向けIT スキル標準)」の推進
6. 国県市とタイアップした事業の展開
7. 協会会員間ビジネスコラボ事業の発展
8. 得意技術や製品、管理手法などを通して協業化を図る「わが社の一押し」の継続
9. スマートフォンやタブレット端末等を利用した技術への取組み

「講演会」



塩尻市企画政策部参事 金子様

長野県塩尻市企画政策部参事CTO(最高技術責任者)金子治雄様より、「国が地方に期待するIoTの社会実装と取組事例」について講演をいただきました。講演内容は、日本の高齢化が進み、労働生産性の国際比較では日本は平均以下で、海外におけるIoT実装推進タスクフォースの例を紹介し、効果を確認。官民データ活用の推進を図り、連携プラットフォームを構築。イノベーションでは情報収集、AI、ドローン、VR、ゲームなどで地方創生に貢献する。また、欧州スマートシティプロジェクトとFIWAREの動向、ブロックチェーン技術などさまざまなIT技術の動向について、詳しくお話戴きました。

「交流会」



NISA 中野会長

平成30年度第1回交流会を開催しましたところ、ご多用中にも拘わらず長崎県新産業創造課、情報政策課、長崎市商工部、長崎県産業振興財団、

長崎県工業技術センター、シंक長崎の方々もご参加戴き、地域発展に繋がる懇親の場を持つことができました。

NISAの歴代会長より御挨拶を戴きました。



前々会長 石橋様



前会長 平様

御来賓の方々より御挨拶を戴きました。



長崎県産業労働部
新産業創造課
課長 井内様



長崎市商工部
部長 片岡様



長崎県産業振興財団
理事長 田川様



長崎県工業技術センター
所長 橋本様



交流会の様子

今回の総会で選任されたNISAの新任理事・監事よりご挨拶を戴きました。



高橋 理事



石橋 理事



北口 理事



柿田 理事



松尾 理事



酒井 理事



山下 監事

選任されました新任理事・監事の皆様よろしくお願ひ致します。

発行元 : (一社)長崎県情報産業協会
〒850-0032 長崎市興善町4-6-701
電話:095-824-0332
発行責任者 : 会長 中野 一英
発行日 : 平成 30年 8月 11日 第1版